



このたびは、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。安全にお使いいただくため、ご使用前に本取扱説明書をよくお読みの上、本書に掲げる使用方法に従い、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。また、お読みになった後はいつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

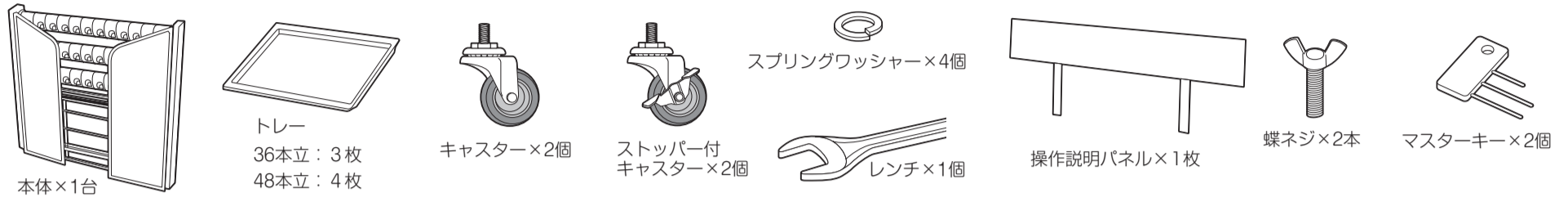
⚠️ ご注意

ご使用の際は下記の項目を必ずお守りください。

- 火気に近づけないでください。
- 製品の分解・改造は絶対に行わないでください。ケガや故障、破損の原因になります。
- 製品の上に乗ったり腰を掛けたりしないでください。転倒してケガの原因となり、非常に危険です。
- 指をはさむ恐れがありますので、本体を組み立てる際や運搬の際はご注意ください。
- 傾斜地や凹凸、段差のある場所では設置・使用しないでください。
- 設置させる際は通行の妨げにならないようご配慮ください。
- 強風の発生しやすい場所への設置は避けてください。
- 製品を移動される際に衝撃を与えないでください。製品が破損する恐れがあります。

- 傘が入っていない状態で、いたずらなどで鍵がロックされてしまった場合、(マスターキーを使い)すみやかにロックを解除してください。
- 鍵がかかっている状態で、無理に傘を引き抜かないでください。
- 使用時、あるいは、収納時は、キャスターのストッパーをかけてください。
- 傘以外の物を入れないようにお願いします。
- 転倒防止の為、保管は本製品が倒れない場所をお願いします。
- マスターキー及び、取扱説明書は大切に保管しておいてください。

部品内容



組み立て方

※図は36本立で説明していますが、組み立て手順は48本立も同じです。 ※折りたたむ時は、5~1の順に作業してください。ロックユニットは重たいので、ゆっくり元の位置に戻してください。

- 1 本体のサイドパネルの下部(2カ所)にキャスターを取り付け、レンチを使って締め付けてください。
※付属のスプリングワッシャーを通してください。
- 2 支柱の下部(2カ所)にキャスターを取り付け、レンチを使って締め付けてください。
※付属のスプリングワッシャーを通してください。
- 3 サイドパネルを固定しているフック(2カ所)をはずし、サイドパネルを左右に開いてください。
- 4 ①サイドパネルを左右に90°以上上げます。
②ロックユニットを上へ持ち上げた状態で、左右のサイドパネルを閉じて
③ロックユニットを降ろし、サイドパネル上部のフックに掛けて引っかけます。
- 5 ①センターバーを上へ引き上げたまま、
②底枠をゆっくり手前へたおし、サイドパネルの下にあるフックにおきます。
③センターバーをゆっくり下げ、左右のツメにはめ込んでください。
④トレーをセットします。
- 6 操作説明パネルを取り付けます。
本体裏側のフレームにある穴と、操作説明パネル支柱の穴を合わせ蝶ネジ2本でしっかり締め付けてください。

鍵のかけ方・鍵のあけ方

鍵のかけ方(傘を入れる)

1 **注意** 現時点では、ボタンに触れないでください。ロックがかかる恐れがあります。

はじめに、お好きな2桁の暗証番号を決め、ダイヤルを回しお好きな暗証番号に合わせます。
(例) 暗証番号を「35」と決めた場合、ダイヤルを「35」に合わせます。

- この番号は傘を取り出す時に必要となります。忘れることのない数字(例えば誕生日など)が望ましい。

2 傘を柄で、フック部を押すように入れ込みます。ボタンを押しながら、ダイヤルを暗証番号以外の任意の数字に合わせてロック終了です。
(例) 「35」以外の数字「**」に合わせます。
これで暗証番号は「35」に設定されました。

- 傘が入りきらずに、フック部が開いた状態は、ロックできません。傘をしっかり入れてください。

鍵のあけ方(傘を取り出す)

1 施錠したときの暗証番号にダイヤルを合わせると、ロックが解除され、ボタンが飛び出します。
(例) 暗証番号が「35」の場合、ダイヤルを「35」に合わせるとロックが解除されます。

2 ロックが解除できたら、傘を矢印の方向に取り出します。

- お客様が暗証番号を忘れられたり、また、緊急時等の鍵の解除には、マスターキーを使いロックを解除します。(詳しくは、右記を参照してください。)

マスターキーの使い方

マスターキーはお客様が暗証番号を忘れられた場合や緊急時等のカギの解除に使用します。

1 まずマスターキーをユニット裏側の穴に軽く差し込んでください。マスターキーは差し込む方向が決まっていますので右図を参考にまちがえないように注意してください。
*注意:この時は、マスターキーを強く差し込まないで下さい。
マスターキーは長い方の2本が右側になるように差し込んでください。

2 マスターキーを軽く押えます。

3 2の状態(マスターキーを軽く差し込む)のまま右手の指で、必ずダイヤルの右側(1の位)から回してください。暗証番号でダイヤルは止まります。
注意:順序は必ず、右(1の位)のダイヤルから合わせ、次に、左(10の位)のダイヤルを合わせてください。
*マスターキーを差した状態で、右側(1の位)のダイヤルが回らない場合はマスターキーを少しだけ抜き、再度右側のダイヤルを回しながらマスターキーを差し込んでください。

4 同じ要領で左側(10の位)のダイヤルも合わせてください。暗証番号が一致するとボタンが飛び出し解除OK。マスターキーを抜いてください。
*マスターキーは失わないよう大切に保管してください。